



(公財)水道技術研究センター
〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-8-1
虎ノ門電気ビル2F
TEL 03-3597-0214, FAX 03-3597-0215
E-mail jwrchot@jwrc-net.or.jp
URL <http://www.jwrc-net.or.jp>

ドナウ流域の上下水道サービス（その8） —コソボ（Kosovo）—

(出典) Kosovo Country Note

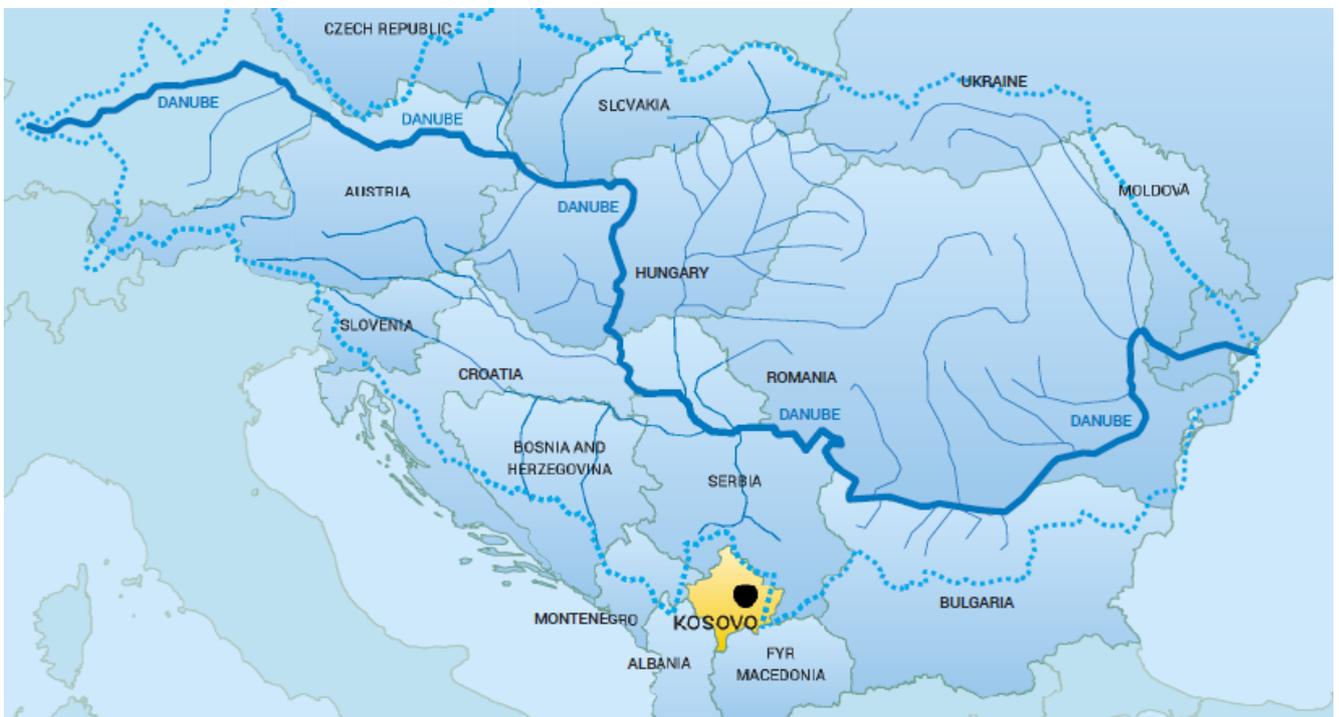
http://sos.danubis.org/files/File/country_notes_pdf/SoS_Kosovo.pdf

(参考) コソボ共和国の概要

1. 面積：10,908 平方キロメートル（岐阜県に相当）
2. 人口：180.5 万人（2013 年，コソボ統計局）
3. 首都：プリシュティナ（人口 60 万人，推定）

(出典) 外務省 HP

<http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/kosovo/data.html#section1>



1. 上下水道サービスの組織及び主体

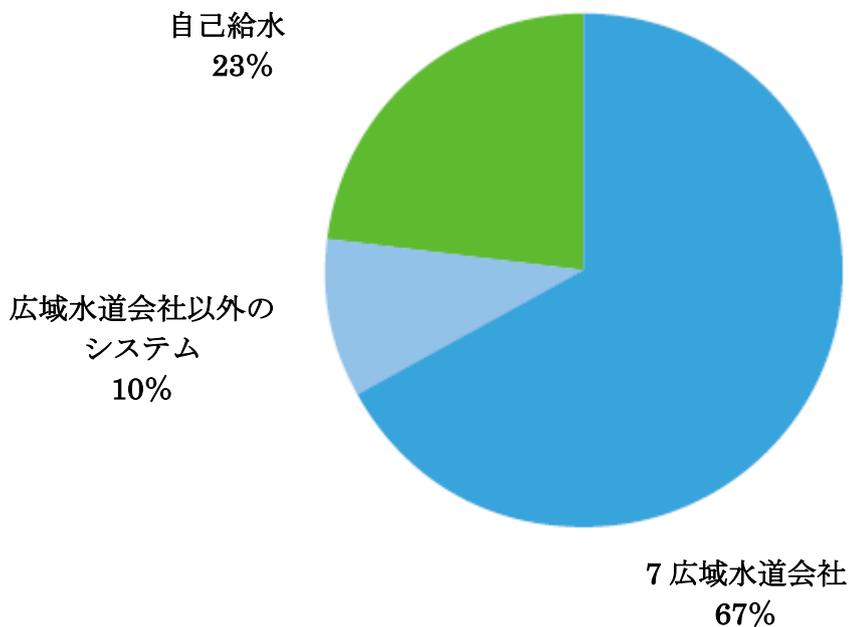
コソボにおける上下水道サービスは、広域水道会社（RWCs : Regional Water Companies）が担っている。広域水道会社は、認可され企業化された公共サービス提供事業者である。中央政府がこれらのサービス提供事業者を所有・管理する一方、市町村は事業体委員会メンバーの任命を通じてこれらの事業者に対する主導権を発揮する。コソボには総人口の67%にサービスを提供する7つの広域水道

会社があり、ドナウ流域の他の国々と比較すると、コソボの水セクターは集中型であると思われる。残りの人口（33%）はコミュニティー（非公共システム）によって運営されている水道システム又は個別システムから給水されている。コミュニティー運営システムは、広域水道会社における統合計画が未完成であったり、コミュニティー自体が統合に反対（ほとんどが料金問題）である場合に存続している。大きな財政的制約や低い料金回収率といったコミュニティー運営システムに関する多くの問題が、調査によって確認されており、維持管理努力の低さ、標準以下であるインフラの劣化、水質モニタリングの欠如、熟練職員の不足を招いている（Skat 2010）。

[コソボの上下水道サービスの組織及び主体]

- 水サービス提供事業者数：7事業者（2012年、出典：WWRO 2013）
- 1事業者あたり平均給水人口：174,583人（2013年、出典：筆者の推計）
- サービス提供事業者の主なタイプ：公共、広域サービス提供事業者
- サービスの範囲：上水道、下水収集及び下水処理
- 所有者：中央政府
- 地理的な範囲：全国規模
- 水サービスに関する法令：有
- 規制機関：有（WWRO）
- 全国上下水道協会：有（コソボ上下水道協会（SHUKOS））
- 民間セクターの参入：わずか

図 水サービス提供事業者のタイプ及び割合



（出典）筆者の推計

2. 上下水道インフラの現状

コソボの水インフラは比較的良好に整備されているが、下水の状態は満足できるものではない。持続した投資のおかげで、老朽化した時代遅れの水道管網インフラは更新が進められている。下水管網は水道管網延長の半分であるが、その改善のためにはかなりの投資を必要とする。しかし、最も深刻な事態は、下水処理に関連するものである (WWRO 2013)。

浄水施設数：9 施設 (2013 年、出典：専門家の推計)

下水処理施設数：2 施設 (2013 年、出典：専門家の推計)

水道管路延長：3,836km (2013 年、出典：専門家の推計)

下水管路延長：1,660km (2013 年、出典：専門家の推計)

3. 上下水道サービスの業務水準

水サービスの質は比較的良好であるが、更なる改善があり得る。下水収集、そして特に下水処理インフラの欠如が下水サービスの質に影響を与えている。2013 年業務実績報告書によれば、水セクター全体における微生物学的適合率は 98.4% であり、物理化学的適合率は 97% に上昇した (WWRO 2013)。違反のほとんどのケースでは、大腸菌群及び大腸菌の存在によって、細菌学的水質が低下している。2013 年におけるサービスの継続性は 22 時間/日であった (WWRO 2013)。

[上水道サービスの質]

家庭用 1 人 1 日水消費量：930 (2013 年、出典：WWRO 2013)

1 日の給水時間：22 時間 (2013 年、出典：WWRO 2013)

飲料水サンプルの基準適合率：98% (2013 年、出典：WWRO 2013)

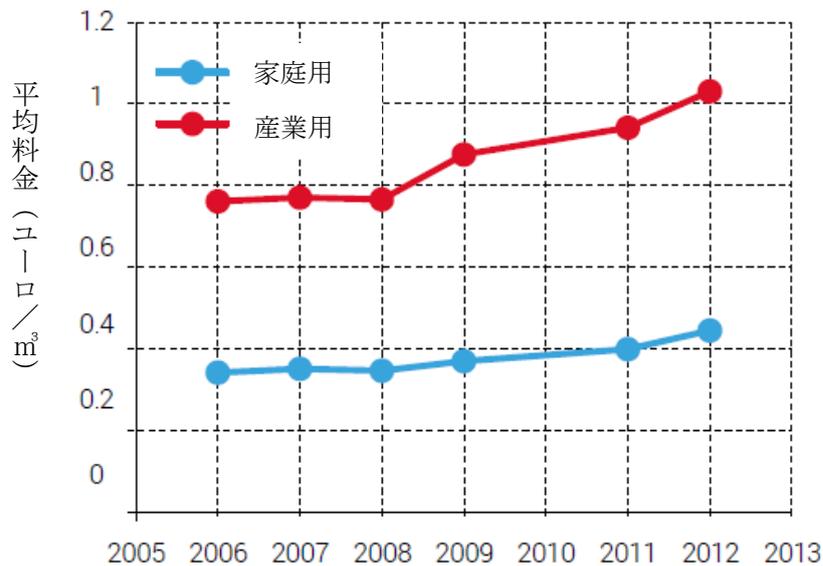
4. 上下水道サービスの効率性

サービス提供事業者の効率性は「中程度」であり、大きな改善の余地がある。近年の着実な改善に関わらず、効率性の向上が今後さらに可能である。例えば、2013 年における無収水率は 57% に達しており、サービス費用及びサービスレベルに悪い影響を与えている (WWRO 2013)。この高い無収水率は、時代遅れのインフラ、旧式の量水器、データ取扱いの間違いなどを含む要因の組み合わせによるものである (WWRO 2013)。

5. 上下水道料金

2006 年以来、コソボでは、規制機関による監視のもと、費用回収原則に従って料金を設定している。2006 年以来、料金は健全経済原則に従って設計されており、一年毎に設定されている。これまで、3 回の料金設定の見直し (2007-2008 年、2009-2011 年、2012-2014 年) が実施されている。上下水道料金はともに、固定料金 (standing fee) 及び従量料金 (volumetric charge) を含んでいる。これらの料金は 7 水道事業者ごとに異なるレベルで設定することができ、また、水道料金は顧客のタイプ (家庭用、商業用又は協会・団体用) によって異なってもかまわない。例えば、固定料金は、家庭用顧客が 1 ユーロ/月、商業用及び協会・団体用が 3 ユーロ/月である。規制機関によって設定される料金は、運営費及び資本費をカバーすることとされている。しかし、実際のところ、事業者の料金徴収の問題及び低い費用効果のせいで維持管理費を回収することが困難であり、十分な投資資金の確保が達成できていない (WWRO 2013)。

図 上下水道料金の推移



(出典) WWRO 2013 及び筆者の推計

(文責) センター専務理事

安藤 茂

配信先変更のご連絡等について

「JWRC水道ホットニュース」配信先の変更・追加・停止、その他ご意見、ご要望等がございましたら、会員様名、担当者様名、所属名、連絡先電話番号をご記入の上、下記までEメールにてご連絡をお願いいたします。
〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-8-1 虎ノ門電気ビル2F (公財) 水道技術研究センター ホットニュース担当
E-MAIL : jwrchot@jwrc-net.or.jp

TEL 03-3597-0214 FAX 03-3597-0215

また、ご連絡いただいた個人情報は、当センターからのお知らせの配信業務以外には一切使用いたしません。

水道ホットニュースのバックナンバーについて

水道ホットニュースのバックナンバー（第58号以降）は、下記アドレスでご覧になれます。

バックナンバー一覧 <http://www.jwrc-net.or.jp/hotnews/hotnews-h28.html>

水道ホットニュースの引用・転載について

水道ホットニュースの引用・転載等を希望される方は、上記ホットニュース担当までご連絡をお願いいたします。
なお、個別の企業・商品・技術等の広告にはご利用いただけません。